

## 科学研究費・基盤研究に関わる北海道（松前-白老-札幌）調査について

目的：道南地域における七夕風習「ろうそくもらい」の伝播に関する現地調査

調査内容：松前に伝わる「ろうそくもらい」の発祥確認（戊辰戦争戦没者の慰霊目的説）

アイヌ資料館・博物館におけるアイヌの自然観（特に天文気象）の確認

道立図書館での北海道各自治体の『市町村史』調査収集および

北海道の天文民俗（七夕・観月等）資料調査収集

行程：

11/22（月） 自宅→（徒歩）近鉄丹波橋駅→近鉄京都駅・JR 京都駅→伊丹空港

（リムジンバス利用）

11:05 伊丹空港→12:40 函館空港（ANA745 便）

レンタカー利用→松前（郷土資料館・松前町教育委員会）→函館 <函館泊>

松前町郷土資料館見学後、資料館と同じ施設内にある松前町教育委員会の西川氏に聞き取り。松前の「ろうそくもらい」には箱館戦争の戦没者慰霊のため地元の侠客が音頭を取っておこなったという説に関して、文化社会教育課の佐藤氏からは把握できない旨を事前にメールで返答いただく。しかし、当時幕府軍の戦死者は埋葬を禁止されていたが松前は地元民が禁を犯して法華寺(松前町豊岡 258)に埋葬した経緯は確かにあるとのこと。函館にも同様の経緯があり慰霊の音頭を取ったのが侠客で五稜郭の建築にも携わった柳川熊吉(1825-1913)との逸話があるため、元からあった「ろうそくもらい」と戦没者の慰霊が結びついた可能性もあるとして後日松前町の郷土史家の方に連絡を取っていただけそうなことを確認。七夕に関する郷土芸能で「白神タナバタ」「江良杵振舞」の現状についても伺う。白神地区に伝わる「白神タナバタ」に関しては現在休止中となっているが COVID-19 の影響だけでなく継承者が高齢化、継承者がいないこともあって再開ができないとのこと。隣接の福島町や木古内町でも同様の事情で七夕に関する郷土芸能が休止の状況にあることを確認。

11/23（火）レンタカー利用

函館（北方民俗資料館）

<函館泊>

函館市立北方民族資料館見学。展示資料の中ではアイヌの自然観で気象（雷・雪）に関するものはあったが星に関するものはなく、学芸員の山田氏も詳細は確認できないとのこと。アイヌ民族と北方民族の交易・交流の中で星を利用すること（スターナビゲーション）があったのか疑問に思ったが、南方の海洋移動と違い緯度が高いこの地域では星を使っの長距離移動は現実的とは考えにくいこともあり調査が必要。

山田氏に紹介された函館市中央図書館へ移動するが、臨時休館で調査できず。

時節柄、屋外での聞き取り調査も難しく宿泊先のホテルでスタッフの方に「ろうそくもらい」について聞き取り。函館市内での風習の違いや地域でお盆の時期が違う事など聞き取る。後日、改めてアンケートを送ることで他のスタッフにも協力を仰ぐ。

(→後日6名のアンケート回答を返送いただいた)

11/24 (水) レンタカー利用

函館 (約3時間) →白老 (アイヌ民族博物館) →白老 (約1時間)

→札幌

<札幌市内泊>

函館より道央道を利用して白老へ移動。

国立アイヌ民族博物館資料室にて天文気象に関する資料を収集。

また、アイヌのルーツを持つ学芸員の押野氏より「専門ではないが」との前置きはあったが「星は道を教えてくれるもの」「方角やコタンへの帰り道を知る目印」として使われていたという話を伺う。ただし館として天文気象に特化した展示はなく現時点では予定もないとのこと。(ウポポイ内の施設・体験交流ホールで上映中のカムイユカラでは日の神・月の神の誕生を伝えるユカラを上映中)

アイヌの星に関する資料は北方民俗資料館でも故黒津博物館でも末岡氏の『アイヌの星』以外に資料の情報を得ることはできず。白老から札幌へさらに移動し札幌市内にて宿泊。

11/25 (木) 札幌→大麻→道立図書館 (江別市文京台東町 41)

大麻→札幌→新千歳空港

18:00 新千歳空港 (MM112 便) →20:25 関西空港

JR 関西空港駅→JR 京橋駅→京阪京橋駅→京阪丹波橋→自宅

JR で札幌から江別市の道立図書館へ移動。北方資料室にてレファレンスサービスで閲覧を申し込んだ12点の書籍に加え、追加書籍6点、道南地域の市町村史6点を閲覧。

北海道の七夕に関する民俗・芸能に関する資料、「ろうそくもらい」のはやし歌に関する資料の複写作業をおこなった。はやし歌に関しては伝承童謡として北海道だけでなく各地域の七夕・月見・十日夜(亥の子)に関する歌詞も収集。

道南地域の市町村史の閲覧に関しては時間の制約もあり6市町村にとどまったが、北海道にある市町村すべて(179)の市町村史を閲覧する必要を感じた。

<道立図書館での収集資料>

- 1 函館市史 銭亀沢編 / 函館市史編さん室編集 / 函館市 / 1998.2
- 2 松前紀行 / 堀田 正厚敦著 / 仙台叢書刊行会 / 1924
- 3 北海道の年中行事 / 小田嶋 政子著 / 北海道 / 1996 (p.168-171)
- 4 なにこれ!?北海道学 / 池田/貴夫著 / 北海道新聞社 / 2013.4 (p.157-161)
- 5 日本わらべ歌全集 1 北海道のわらべ歌 / / 柳原書店 / 1985.5 (p.101-102)
- 6 北海道わらべ唄 / 藤島範孝著 / 北海道新聞社 / 1976 (p.11)
- 7 文芸にいかっぷ 通巻 20 号 / 新冠文芸協会 / 2002.12.20 (p.112-118)
- 8 BUN BUN ブンブン Sapporo タウン情報紙 通巻 100 号 / 朝日新聞北海道支社  
「ブンブン」編集室 / 2000.1.31
- 9 北海道大百科事典 下 た-わ / 北海道新聞社編集 / 北海道新聞社 / 1981
- 10 わらべうた研究ノート / 本城屋勝著 / 無明舎出版 / 1982.6
- 11 日本伝承童謡集成 第 5 巻 歳事唄・雑謡篇 / 北原白秋編 / 三省堂 / 1975
- 12 「100 回目の夏・風物詩創造」委員会調査報告書 / 旭川青年会議所イベント開発委  
員会[編] / 旭川青年会議所イベント開発委員会 / 1990.7
- 13 アイヌの民俗 (下) / 更科源蔵アイヌ関係著作集 / みやま書房 /
- 14 北海道子ども歳時記 母と子の生活と食べもの 茜会 編
- 15 北海道の民俗芸能 - 北海道民俗芸能緊急調査報告書 - 北海道教育委員会
- 16 聞き書 北海道の食事 農山漁村文化協会
- 17 北海道を探る 11
- 18 28 / 北海道みんぞく文化研究会 / 1994.3
- 19 松前町史
- 20 知内町史
- 21 江差町史
- 22 昭和の子どもブック

<購入資料>

松前の文化財 松前町教育委員会編  
松前かわら版 (昭和 63 年 2 月~平成 12 年 9 月) 松前町史にしたしむ会編  
函館市北方民族資料館ガイド